

兵庫

地域面3ページ→

神戸支局 神戸市中央区栄町通4の3の5 電話078(371)3221 千650-0023 F A X 078(371)7615 kobe@mainichi.co.jp

姫路支局 姫路市三左衛門堀東の町102 電話079(282)1221 千670-0949 F A X 079(288)2330 himeji@mainichi.co.jp

阪神支局 尼崎市東難波町5の16の29 電話06(6482)1221 千660-0892 F A X 06(6482)5456 hanshin@mainichi.co.jp

豊岡支局 豊岡市元町10の6 電話0796(22)6331 千668-0026 F A X 0796(23)5188 toyooka@mainichi.co.jp

淡路支局 洲本市本町3の1の40 電話0799(22)1360 千656-0025 F A X 0799(24)1360

【主な通信部】丹波通信部 079(552)0388
 【購読問い合わせ】 0120-468012

日本も秋ですね。台風一過の快晴のもと岐阜国体も盛り上がっていると聞いています。台湾の秋も快適です。夜は長袖が必要になってきました。ところで9月30日の日曜日は皆様いかがお過ごしだったでしょうか。こちらでは30日までの一週間は中秋節といって新嘗節、端午の節句と並ぶ年間3大行事の一つとしてみんな大事にしている行事です。おなじみの月餅がよく売れます。最近は焼き肉を食べながら家族で祝う習慣が定着しつつあります。公園や川べりで炭火の煙が立ち上がっているのをよく見かけました。私はその日、女子サッカー代表チームの台宿の打ち上げ宴会に呼ばれて、皆と一緒に台南地方の海鮮料理を頂きました。

月を観ながら快拳に酔い

た。そして夜は満月に酔いました。

実は8月の末に夏休みを頂いて10日間ほど一時帰国をしました。サッカー仲間と旧交を温めました。時間が足りずお目にかかれなかった方々にはここでお詫びします。日本の良さがだんだんとわかって来て、後10日もしたら台湾に行きたいと言いたし、そうないや、さうないや、楽しい日々でした。やはり持つべきは友です。そして9月上旬に台北に戻ったわけですが、台湾再発見II期と称して第一期の反省をもとに、さらにあらゆるジャンルに挑戦したいと思っています。

黒田 和生

年年歳歳



日本では友と会うだけでなく本やCDの購入にも忙しかった。台湾にいるととにかく日本語に飢えてきます。読みかけのシリーズ小説の「楊台伝」に加え古典の「ジャン・クリストフ」にも挑戦したので、サッカーの専門書と合わせてまとめ買いしてきました。CDはベートローベンです。今は充実した読書の秋を味わっています。

さてサッカーはかなり充実してきました。全国の4地域巡回は軌道に乗り、子供たちも定着し地元のアシスタントコーチも付き好評です。この事業は「未来希望」計画と名付けられ10年後、20年後の台湾のサッカーを支える事業になるはず。U-18の方は計画した台宿が台風で延期されてしまいました。前回も同じ事があったわけですが、場所がどちらも花蓮県とあっては、なかなか「可憐」とは縁がないなあと一人で洒落ています。花蓮はよいところですよ。

そんな折、岐阜国体で兵庫の少年チームが30年ぶりの優勝という知らせが入ってきました。私も長らく関係しながらなかなか届かなかった栄誉です。一時帰国した際も激励会をしたところなので、この快拳には心から喜んでいきます。スタッフの皆さん本当にご苦労様。素晴らしい快拳です。おめでとございます。

この快拳にはさまざまな要因があると思いますが、その一つに「指導者養成事業」があると思います。いつも言うように急がば回れのことわざ通り、時間はかかって指導者を育てる事が一番かなと思います。ざっと兵庫で30年。少年、女子、初心者コーチからB級C級と根気よく共に丁寧にサッカーの輪を広げて行った関係者の皆さんの努力が奏りました。これが兵庫方式です。さらに回数を増やしていく、この中から日本代表選手が出てくる事を夢見ながら、台湾も追いつけ追い越せの気持ちで、それにかける30年をいかに縮めるか月を観ながら考える事にします。

(くろだ かずお JFA 日本サッカー協会 アシスタントコーチ、元滝川ア貢献事業コーチ、元滝川第一高校サッカー部監督)

日本では友と会うだけでなく本やCDの購入にも忙しかった。台湾にいるととにかく日本語に飢えてきます。読みかけのシリーズ小説の「楊台伝」に加え古典の「ジャン・クリストフ」にも挑戦したので、サッカーの専門書と合わせてまとめ買いしてきました。CDはベートローベンです。今は充実した読書の秋を味わっています。

さてサッカーはかなり充実してきました。全国の4地域巡回は軌道に乗り、子供たちも定着し地元のアシスタントコーチも付き好評です。この事業は「未来希望」計画と名付けられ10年後、20年後の台湾のサッカーを支える事業になるはず。U-18の方は計画した台宿が台風で延期されてしまいました。前回も同じ事があったわけですが、場所がどちらも花蓮県とあっては、なかなか「可憐」とは縁がないなあと一人で洒落ています。花蓮はよいところですよ。

そんな折、岐阜国体で兵庫の少年チームが30年ぶりの優勝という知らせが入ってきました。私も長らく関係しながらなかなか届かなかった栄誉です。一時帰国した際も激励会をしたところなので、この快拳には心から喜んでいきます。スタッフの皆さん本当にご苦労様。素晴らしい快拳です。おめでとございます。

この快拳にはさまざまな要因があると思いますが、その一つに「指導者養成事業」があると思います。いつも言うように急がば回れのことわざ通り、時間はかかって指導者を育てる事が一番かなと思います。ざっと兵庫で30年。少年、女子、初心者コーチからB級C級と根気よく共に丁寧にサッカーの輪を広げて行った関係者の皆さんの努力が奏りました。これが兵庫方式です。さらに回数を増やしていく、この中から日本代表選手が出てくる事を夢見ながら、台湾も追いつけ追い越せの気持ちで、それにかける30年をいかに縮めるか月を観ながら考える事にします。

(くろだ かずお JFA 日本サッカー協会 アシスタントコーチ、元滝川ア貢献事業コーチ、元滝川第一高校サッカー部監督)